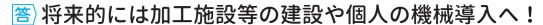
猿橋 正男議員

問 農業の6次産業化に向けての施策及び構想は





6次産業化とは、1次産業の農作物の生産、2次産業の加工、3次産業の販売を一貫して行うことで、付加価値を高める取組であり、農業従事者の所得向上に6次産業化が有効と考えるが。

問 6次産業化へ向けての施 策及び構想は。

産業課長 ノウハウを持った アドバイザーの導入や地域商 社をコーディネーターとした 事業者間連携体制の構築、販 路の拡大などを進め、将来的 には加工施設等の建設や個人 の機械導入につなげていきた いと考えています。

道の駅で農作物が早い時間 帯に売り切れになってしまう。 また、農作物を新規に出荷し ようとしてもハードルが高い との声を聴く。多くの方が出 荷することで収入を増やし、 早い時間帯での売り切れがな いようにすべきと考えるが。

問 道の駅への出荷状況や新 規出荷への取組は。

産業課長 商品が売れた生産 者に補充を求める連絡をして いますが、なかなか補充されないのが現状です。新たな対応策を検討したいと思います。 町内者の新規出荷は会員申請書を記入し、販売組合へ申込むことで出荷でき、特に難しいことはありません。新規出荷者が出荷しやすい環境を整える取組を実施していきます。



リニューアル後の道の駅ごか

問 コミュニティ交通の将来像は

(答) ワンボックスカーを導入することも念頭におき、利便性の向上へ!

ごかりん号の運行ができない地域の方から「バス停が遠い」との声を聴く。また、ワゴン車などによる出発地から目的地までのドアtoドアの運行が増えているように思うが。

問 本町のコミュニティ交通 の将来像は。

生活安全課長 現時点においては、乗車料金の値下げをし、 回数券の導入などにも取り組 む予定です。将来的には、ワンボックスカーを導入することも念頭におきながら、町民の方々の利便性の向上を図っていきます。

社会福祉協議会に委託している「在宅福祉サービスセンター」で実施している「外出サービス」があるが、利用の1週間前に予約のため、いざという時に使えず、タクシー

等を利用することになり、経済的に負担となっている方がいるが。

問 外出サービス利用者に対して、タクシー券等の助成ができないか。

健康福祉課長 助成を実施する場合、町の公共交通の体制と合わせた協議が必要となると思われます。今後、必要に応じて協議を行っていきます。